



うちのイチ押し!

西成区民センターはコミュニティ活動及びコミュニティ施設の運営を通じて心のふれ合う連帯感豊かなまちづくりを推進しています。

アート・ウェイ・オオサカ2

入場無料

※ワークショップ
など一部有料

Art Way Osaka 2

2015年8月8日(土) 9日(日) 西成区民センター(メイン会場) 開場 11:00~19:00(両日とも)

大阪のもっとも大阪らしい場所、西成から発信するアートの道。そこは、作る人と鑑賞する人が出会う散歩道です。花を買って部屋に飾るように、CDを買って好きな音楽を聴くようにもっと気楽に気負わずにアートを楽しんでほしい。そんな思いからこのアートの祭典は企画されました。

主催 大阪市立西成区民センター



お気に入りのアートを
見つけにきてネ!

豪華賞品が当たる
スタンプラリー開催!
西成区 & 市内10会場

ハンドメイド・マーケット48ブース、公募展(テーマ「SORA」)35名
大阪・日本橋 伝説のギャラリー「亜蛮人」がメイン会場に復活!
リサイクル材料の手作り楽器ワークショップ(無料)

※ワークショップは材料を十分ご用意いたしますが、なくなり次第終了とさせていただきます

阿倍野「わのわかフェ」魅惑のエスニックフード・コーナー
などなどワンサカ集まるアート・フェス開催!!

大いに盛り上がった昨年の様子



大阪市立 西成区民センター

〒557-0041 西成区岸里1-1-50

- ・地下鉄四つ橋線「岸里」下車
 - ②番出口すぐ(区役所の隣)
 - ・南海本線・高野線・地下鉄堺筋線「天下茶屋」下車西出口徒歩5分
- 電話:06-6651-1131



★詳しくは → <http://awo3.webnode.jp/> または【アート・ウェイ】で検索
フェイスブック <https://www.facebook.com/awo2014> ツイッター https://twitter.com/AWO_Nishinari

おおさか歴史探訪 91

大阪の史跡や歴史資料を毎月連続でご紹介します。



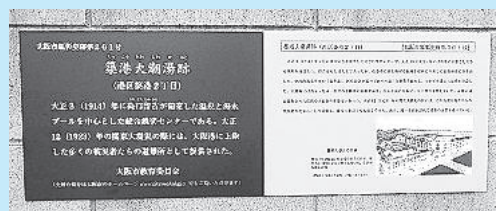
築港大潮湯跡

— 忘れてはならない関東大震災との関わり —

最近もネパールで大地震がありました。今回はかつての関東大震災の時の話題です。

今日、温泉を中心としたレジャー施設は珍しくありませんが、大正の初め頃その走りともいえるものが堺と大阪の海辺に建設されました。大正2(1913)年にできた堺大浜潮湯は阪堺電気軌道(のちに南海鉄道に合併)によるものでしたが、大正3(1914)年の築港大潮湯(現港区築港2丁目所在)は森口留吉(1875~1945)という個人がつくったものでした。

留吉はもと大工で、仕事に出る廃材やカンナ屑をそのまま処分してはもったいないとして、浴場の燃料に使うことを考えます。その事業が成功し築港に巨大な滝のあるプールや劇場を備えた大浴場の建設に至るのです。また、大正10(1921)年につくった新館には百畳敷きの大広間や入浴客の休憩室が設けられていました。そうした大潮湯が人気を集めているところに、大正12(1923)年9月1日、関東大震災が起こります。関東一帯の鉄道網が寸断されていたため、避難者たちは船を利用して大阪港へ詰め寄せます。大阪市ではその避難者を受け入れる施設を用意しましたが足りず、市は大潮湯新館の提供を申し入れます。留吉はこれをこころよく受け入れ、食事の世話までも引き受けました。このはたらきに、後日、関一市長が大潮湯を訪れ感謝の言葉を述べたといえます。(大阪市教育委員会 文化財保護課)



築港2丁目の海岸通にある顕彰パネル

